No１９　下野市立石橋中学校

校長室だより

スローガン　～生徒も先生も、自ら輝く学校～

目指す学校像
『未来を、たくましく生き抜ける生徒』の育成
キーワード「自立・貢献・創造」

令和５年１月１１日(水)
発行者　田熊利光

石橋中ホームページＱＲコード→

サードステージ開始にあたり

皆さん、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いします。

生徒の皆さんにはセカンドステージの終わりに次のような話をしました。**本当の戦いとは、自分との戦いであ**るということ。他人と自分を比べて悩むことは**「他人の時間を生きること」**、それとは逆に、自分の弱さに打ち勝ち、成長している自分に目を向け、それを自信に変えて、前向きに生きることは**「自分の時間を生きること」**であり、**「自分が人生の主人公」**になる生き方であるということ。もう一つは、**「志」**の話をしました。**「自分に厳しく、人に優しい労りの心」を持って、仲間や社会に貢献できる自分を目指して頑張ろう**という内容でした。

さて、２０２３年がスタートしました。今年は癸卯（みずのとう）の年に当たります。十干の１０番目にあたる癸と、十二支の４番目にあたる卯の組み合わせで、十干十二支では４０番目にあたる組み合わせです。陰陽五行説では、癸が水の陰のエネルギーを表し、卯が木の陰のエネルギーを表します。

「癸」は雨や露、霧など、静かで温かい大地を潤す恵みの水を表しています。十干の最後にあたる癸は、生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成長し始めている状態を意味しています。「卯」は、穏やかなうさぎの様子から安全、温和の意味があります。また、うさぎのように跳ね上がるという意味があり、卯年は何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ、景気回復、好転するよい年になると言われています。

２０２３年は癸卯の年で、「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると考えられます。

サードステージは、各学年の学習のまとめの時期になります。特に、３年生は、体調管理には十分気をつけて、**「有終の美」**を飾れるよう、自分の進路実現に向けて頑張ってほしいと思います。また、１、２年生は、次の学年に向けて、準備をする時期になります。４月からは、新入生が入学してきます。**後輩の良き手本となり、石中の良き伝統を引き継ぐとともに、新たな創造に挑戦する気概をもって頑張ってほしいと思います。**

２０２３年は、皆さんが、目標に向かって、全力で努力して、**「大きく飛躍する年」**になることを願っています。

新生徒会役員任命式

昨日、新生徒会役員の任命式を行いました。昨年、１１月に生徒会役員選挙が行われ、新生徒会役員が決定しました。新体制のもと、さらに「一人一人が輝く学校」を目指して、新生徒会役員を中心に頑張って欲しいと思います。また、旧役員の皆さん、大変お疲れ様でした。新役員の皆さんが、良き伝統引き継ぎ、さらに活躍してくれることを期待しています。

役職名	氏名	
会長	２年６組　齋藤凪冴	
副会長	２年６組　渡邉萌香	
本部役員	２年１組　一野谷碧羽	２年２組　小林航大
	２年３組　篠原悠起	２年４組　渡辺韻貴
	１年１組　山口咲和	１年１組　横地陽太
	１年２組　伊波蓮至	１年３組　印南魁流

杉山陽菜日